

本年5月から6月にかけて報道された持続化給付金の事務委託問題について、仙台市民オンブズマンで議論し、下記のような結論となりました。

つきましては、全国市民オンブズマン連絡会議として、会計検査院に対して是正措置を取るよう要請することをご検討いただければと存じます。

記

本年5月から6月にかけて報道された持続化給付金の事務委託問題について、違法行政を正すことを目的としている私達オンブズマンは重大な関心を持たざるを得ないと存じます。

報道された内容によれば、会計法によって規定されている契約手続が遵守されていないと思われます。入札に当って、入札歴からはCクラスでしかない一般社団法人サービスデザイン推進協議会に対し、経済産業省側が事前に情報提供しただけではありません。そもそも同協議会には協議会自体で委託された業務を推進できるような物的人的な態勢がなく、法人の設立に関わった電通等の企業に実際の業務を行わせるであろうことは、法人の定款作成に関与した経済産業省自体十分に把握していたと考えられます。

設立以来、経済産業省が行っている14の事業の事務を同協議会が受託しています。

どのように受託した事務を実施したのかは、当然委託をした経済産業省が把握するべきですし、同協議会が設立以来、決算公告を一度も行っていないことを今回の疑惑発覚まで知らなかった等ということ自体大問題です。仮に事業実施を丸投げし、その後は何らチェックもしていなかったというならば、経済産業省は官庁として事業実施の能力がなく、官庁の体を為していないので、抜本的な人事の入れ替えが必要ではないでしょうか。

故志村けん氏が演じたバカ殿様のごとく「よきにはからえ」と業務委託してしまえば事足れりとしているような官庁は、解体されても当然と考えるべきです。

今回、同協議会は約769億円で委託を受けた事務を約749億円で電通に再委託しました。財務省通達が、一括再委託の禁止をしていることから、再委託の合理的理由があるかどうかを国会審議で明らかにすることを求める声があります。それも大事でしょうが、事実上名義を貸すだけのトンネル法人にすぎない同協議会を介在させる理由は、国民の側からすれば、どこにもないことは国会審議を待つまでもありません。

誰の利益のためにこのような契約をしたのかを、会計の番人である会計検査院がきちんと調査して、国民の前に明らかにすべきです。

明白な会計法を無視した行為が究明され国民が納得しうる是正措置が為されなければ、会計検査院自体が存立基盤を失うことになるでしょう。

全国のオンブズマンが、訴訟によって地方自治体の違法な会計行為を正してきた経験に踏まえ、会計検査院に対し、地方自治体の一部の監査委員のように盲腸的な存在になることがないよう、是正措置を取るよう要請することが必要です。

そして、会計検査院が是正しきれないならば、住民訴訟と同様に国民が国の財務会計行為の違法を正すための訴訟制度の創設に向け今後活動を進めていく必要があります。